

16年12月
第270号

幸多い新年を お迎え下さい

今年はどんな1年でしたでしょうか?全国的には熊本地震や台風被害、水害など心痛む出来事も目立ちました。政治的にも高齢者や子育て世代には一層厳しくなった感じです。しかし、こんな時代だからこそ地域での支え合い、自治会の役割が問われていきます。公民館を中心に子どもたちの元気な声が絶えませんでした。父母世代や高齢者の支えがそれを後押ししてくれました。心から感謝申し上げます。

自治会長 銘苅 全郎

中学生の参加増える

年末恒例のCGG活動

公民館周辺や公園での花木植え(左)



写真)、緊急避難通路(タケノコシ)の草刈り作業(下写真)、交流餅つきが行われました。今年はこれまでになく中学生の参加が目立ち、巡回した県、市教育委員会の関係者も「多いネ」と高い評価の声。これから



理も父母が手作り準備、楽しいパーティとなりました。写真。直前まで先生には内緒で準備が進められ、いきな計らいに感激もひとしおの様子でした。いいですね

習字教室 賑やかに誕生会
ケーキ料理 父母手作りで
習字教室(土)は小中学生を中心に大人まで含め40人近い。終崎ケイ子先生への感謝の思いを込めた誕生会が17日開かれました

終崎先生も「うれしい!」

みんなでつくろう! 世代が支え合う 元気で笑顔あふれる地域を!

目指そう! [クリーン グリーン グレイシャス] 活動の日常化



肉汁につきたて餅を入れ「おいしい!」



餅を小分けしたりアンコを入れたり・



小中学生も餅つきを楽しんでいました

一緒に頑張っって欲しいですね!

施設配置等で意見交換

海浜公園基本設計に向け

カーミージー周辺での海浜公園実現に向けた自治会と所管の「ちゅらまち推進課」との第2回目報告・意見交換会が22日行われました。第1回(11月8日)の議論を受けて市側は、教育委員会や環境保全課などが集まって2度にわたる庁内連絡会を開催。その結果、拠点施設については「学習支援施設」として位置づけ、研修室やカヌー艇庫なども確認された。だが、課題は用地確保。施設規模、配置場所を含め、引き続き2月に第3意見交換会を開催する。

ゆくゆくとときどき閑話

浦添市では年明け早々の2月に市長選と市議会議員選挙が行われる。今のところ現職対新人の一騎打ちとなりそうだが、前回選挙とはまるで様相が変わっている。第1に、支援政党、第2には公約内容。西海岸開発計画と軍港移設問題も対立軸のようだが、背後関係を見ると、どう対立しているのかさえ分からない。浦添市の今後についても、余りに抽象的でつかみ所がない。もう少し様子をみたい。市議選は4期努めた比嘉議議員が勇退する。代わって同じ公明党の新人「金城大すけ」氏が後継者として名乗り出ている。「里浜活動をライフワークにし、港川のため頑張りたい」という。頼もしいネ